

# 大山平一郎

指揮



京都生まれ(両親はともに博多出身)。1970年、英國ギルドホール音楽演劇学校を卒業。その後、米国インディアナ大学でも研修。1972年、マルボロ音楽祭にヴァイオリニストとして参加後、数多くの国際音楽祭に招待され著名な演奏家と共に演奏。1979年にカルロ・マリア・ジュリーニの率いるロサンゼルス・フィルハーモニックの首席ヴァイオラ奏者に任命され、1987年にアンドレ・プレヴィンの副指揮者に任命される。その後、客演指揮者として、欧米各地で指揮をする。日本では京都市交響楽団、読売日本交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、札幌交響楽団など、数多くのオーケストラを指揮している。米国サンタフェ室内音楽祭、ラホイヤ・サマーフェスティバルの芸術監督を歴任。1999年から5年間、九州交響楽団の常任指揮者、2004年から3年半の間、大阪交響楽団首席指揮者。2003年に30年にわたるカリフォルニア大学教授職を終える。2007年から3年間、ながさき音楽祭音楽監督。2017年に35年にわたるSanta Barbara Chamber Orchestraの音楽監督を終える。2005年に“福岡市文化賞”、2008年に文化庁“芸術祭優秀賞”、2014年に米国サンタ・バーバラ市の文化功労賞を受賞。現在、“Music Dialogue”芸術監督。CHANEL Pygmalion Days Chamber Music Series芸術監督。米国Lobero Theatre Chamber Music Project芸術監督。

東京音楽大学に特待生として学び、在学中に第59回日本音楽コンクール第3位入賞。クリーヴランドのロベル・カサドシュ国際ピアノコンクール第4位入賞、1997年浜松国際ピアノアカデミーコンクール第1位入賞。

1992年、タンブルウッド音楽祭に特待研修生として招かれ、室内楽とピアノをレオン・フライシャー、ピーター・ゼルキンの両氏に師事。ニューヨークのマネス音楽大学大学院にて、ピアノをルドルフ・ゼルキンの愛弟子、ステファニー・ブラウン、楽曲分析をカール・シャクター、指揮をマイケル・チャーリーの各氏に師事。1996年、同大学院をJ・フィーデルマンピアノ賞を得て修了。1994年には一時帰国し、日本演奏連盟、文化庁共催の東京デビューリサイタルを東京文化会館小ホールで開催。

これまでソリストとして、ブラハ放送交響楽団、ニューヨーク・ニューアムステルダム交響楽団、カユガ室内管弦楽団、オハイオ室内管弦楽団、中米・コスタリカ国立管弦楽団、読売日本交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、九州交響楽団、大阪交響楽団、札幌交響楽団、広島交響楽団、浜松フィルハーモニー管弦楽団等と共に、日本テレビ「深夜の音楽会」他に出演。

ハイドン・イヤーの2009年にはヴィアナ・ド・カステロ国際音楽祭(ポルトガル)に招かれ、ハイドンのピアノ協奏曲へ長調を自作カデンツァで演奏、好評を博す。近年では、ヴァイカースハイム国際音楽祭(独)、エンゲルス国際音楽祭(独)、西安音楽学院(中)、ラゴマジョーレ・レザ(伊)でのピアノ・サマー・アカデミー等に招聘され、演奏活動を行うと共に、マスタークラス等を行い、後進の指導にも努めている。

カリフォルニア国際コンクールピアノ部門(米)審査員。第3回アセアン・ショパン国際ピアノコンクール(マレーシア)審査員。日本音楽コンクール審査員。2006年より浜松国際ピアノコンクール運営委員および専門委員を歴任。

現在、東京音楽大学教授。

CD : 愛の言葉:グラナドス、ストラヴィン斯基、シューベルト(OVCT-00133)

シューベルト:即興曲D.935&ムソルグスキイ:展覧会の絵(SONARE1002)

# 石井克典

ピアノ



## NPO法人 静岡フィルハーモニー管弦楽団



静岡フィルハーモニー管弦楽団は1977年9月に静岡市を中心とするアマチュア音楽愛好家によって創立。定期演奏会を中心に年間5回程度の演奏会を行い、これまでの公演回数は200回を超える。また、海外交流文化親善使節として、1986年の中国公演(北京、杭州)を皮切りに、1989年アメリカ(オマハ、ボストン)、1992年フランス(カンヌ)・オーストリー(ウィーン)、2001年イギリス(バーミンガム、ロンドン)、2007年イギリス(コベントリー、ロンドン)、2012年中国(杭州)、2015年アメリカ(オマハ)で公演し好評を博した。創立以来、国内外で活躍する著名な指揮者やソリストと共に演奏を重ね、常に質の高い音楽づくりを目指してきた一方、地域の合唱団、バレエ団等との本格的なオペラ公演、バレエ公演も数多く開催してきた。また、テーマを定めた特別演奏会や室内楽コンサートも随時開催しているほか、地域貢献活動として様々な施設に音楽を届ける「音楽の花束」事業も積極的に展開している。2022年には楽団創立45周年を迎え、9月4日「第50回全国アマチュアオーケストラフェスティバル静岡大会」を主管オーケストラとして開催する。1987年度静岡県文化奨励賞受賞。団員数95人。